



巨大アヒル あびる注目

国東市の迫池、県内外から週末4600人



ラバー・ダックの前で記念撮影を楽しむ来場者。国東市国東町の迫池

【国東】世界を旅する巨大なアヒルが仏の里にやってきた。国東市国東町綱井の迫池で15日、アート作品「ラバー・ダック」の展示が始まった。九州初登場で、一目見ようと週末の2

日間で県内外から約4600人が訪れた。外周300ほどの池に体長約10メートルのアヒルが堂々と浮かぶ姿は来場者の心をつかんだ。大分市から来た向井文理さん(50)は「会社

で話題になっていた」と笑顔。国東市安岐町の足立葉音さん(8)は「安岐小2年」は「大きくなってびっくりした。乗ってみたい」。

作品はオランダ人アーティストのフロレンティン・ホフマンさん(48)が全ての人に癒やしを与えたいとの願いを込めて2007年に

制作。欧州や北米など世界各国で披露された。

国東市の展示は30日まで。観覧無料。近くの旧旭日小グラウンドと旧JA旭日支所に駐車場がある。問い合わせは市観光・地域産業創造課(0978・72・5168)。

(佐藤英司)



〔問①〕 国東市国東町の迫池に展示されているアート作品の名前はなんですか。

〔問②〕 作品の体長は約何メートルですか。

〔問③〕 2007年にこの作品を制作したオランダ人アーティストのフロレンティン・ホフマンさんは、作品にどんな願いを込めていますか。

〔問④〕 あなたは普段どんな時に癒（いや）しを感じますか。考えて発表しましょう。
